

令和3年12月

障害児相談支援事業所 相談支援専門員 各位

「障害児相談支援における基礎的知識の可視化のための研究」へのご協力をお願い

大正大学心理社会学部
教授 内山登紀夫

現在、私たちは 令和3年度厚生労働省科学研究助成金（障害者政策総合研究事業）において「障害児相談支援における基礎的知識の可視化のための研究」を実施致しております。これは、障害児相談支援において支援の質の向上を図り、相談支援のガイドラインを作成するために、相談支援事業者の方々から現状や今後の課題等についてのご意見を幅広く収集することを目的としています。

つきましては、貴事業所の“子ども”に関わっておられる相談支援専門員の方に、本依頼状につきましてご周知いただき、できるだけ多くの方にご協力をお願いできれば幸いです。（成人のみを対象としておられる事業所は、今回の調査の対象外となります。）

1. 研究の目的：より良い障害児相談支援における実態や今後の課題等を検討します。
2. 研究の方法：ウェブアンケートで約15分です。
3. 対象者：“子ども”に関わっておられる相談支援専門員です。
4. 依頼内容：ウェブアンケートへのご回答をお願いいたします。以下の URL または QR コードからアクセスしてください。

URL：https://tkypsychsurvey.qualtrics.com/jfe/form/SV_IXqvVTQMwrDkIDM

QRコード：



5. 研究への参加で調査協力者が受けられる利益：直接的な利益はありませんが、間接的に今後の相談支援の質の向上が期待されます。
6. 研究への参加で調査協力者が被る不利益：研究にご協力いただくために、約15分程度の時間を割いていただくこととなります。
7. 研究対象の事業所の情報の取り扱い方法：事業所名、個人名の個人情報は収集せず、無記名でのアンケート回答をお願いいたします。
8. 研究成果の公表方法：本研究の成果は、学会誌や報告書等において報告される予定です。その際、個別の結果ではなく、全体のデータが用いられます。また、どのような報告においても個人情報の保護には十分に配慮いたします。
9. 研究についての問い合わせ先：大正大学心理社会学部臨床心理学科教授内山登紀夫
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1
E-mail：uchiyamaresearch@gmail.com